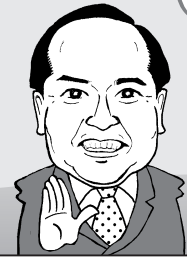


先憂後楽



『先憂後楽』とは、「国の大事については、世の人々に先立って憂い、そして国がよく治まり人民が楽しんでいるのを見届けてから初めて自分も楽しめ」という意味です。
(題字揮毫 故 林田悠紀夫先生)

2008. 7 第31回 府政報告 多賀久雄事務所
〒626-0008 京都府宮津市万年895-8 TEL (0772) 22-6335 FAX (0772) 22-6335
<http://www.tango.or.jp/taga/> E-mail : taga@tango.or.jp

みんなで創ろう！輝くふるさと

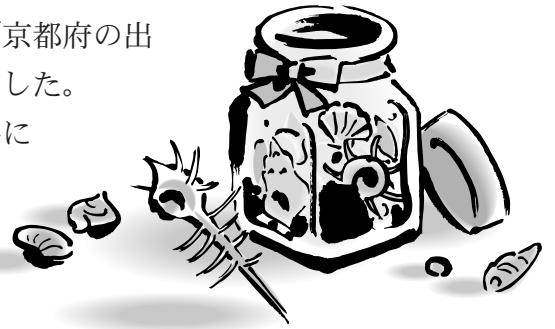
皆さんには、お元気でご活躍のことと存じます。

まずお礼を申し上げます。先日森林環境税に関するアンケートを実施いたしましたところ、大勢の皆さんのご協力を得ることができました。ありがとうございました。結果を参考にしながら、府議会で議論を深めてまいりたいと存じます。

さて、当たり前の話ではありますが、府議会では、二元代表制（知事も議会議員もそれぞれ直接選挙で選ばれる制度）の一方の当事者としての任務を果たすべく、議会のあり方について、不断の点検を続けております。そうした一環として、2月定例会におきまして、「京都府行政に係る基本的な計画の議決等に関する条例」「京都府の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例」を定めました。

私は、初めての当選以来ずっと、基本的な計画を議決案件にするよう主張してまいりましたので、これからどうい議論がされていくのか大変楽しみであります。

そこで今号では、アンケートの結果や新京都府総合計画を中心に報告いたします。



森林環境税に関するアンケートから

まず、542通のご回答をいただいたことに、改めて厚くお礼申し上げます。

森林には多様な役割がある

森林を守るために新しい税を創ることに賛成の方も反対の方も森林の多様な役割を認めています。それぞれの役割に概ね同じような価値を認めておられまして、土砂の崩壊や流出を防止する役割が最も多くて24%、自然環境を保全するが22%、地球温暖化を防止するが20%、水質を浄化するが19%、人に安らぎと休養を与えるが12%となっております。

現在の制度だけではもう救えないほど山は荒れている

森林が大半を占める地域でもありますし、回答者の中には森林所有者も多いということもあるのでしょうか、69%の方が京都府の森林は荒廃が進んでいると思っておられます。また、森林を守るために新しい税を創ることについては賛成、負担の程度によっては賛成、使い道によっては賛成という方が83%を占め、14%の方が反対とされております。

山は荒れているがもっと工夫と努力を

反対とされる方の反対理由ではありますが、森林を守ることは大切だが、現在の税の範囲で行えばいいとされる方が37%、理由は問わず新たな税負担には賛成できないとされる方が29%、森林所有者が責任を持って取り組むべきとされる方が22%、現在の制度の中で取り組むべきとされる方が12%となっております。

まず放置森林を何とかせねば

新しい税を創ることに賛成の方の税の使い道は、市町村が行う放置森林等の整備に使うべきとされる方が最も多く50%を占めており、次に森林所有者が行う森林整備への支援20%、森林保全意識を高めるための事業19%、森林に親しむための事業11%となっております。また、使い道によっては新しい税を創ることに賛成とされた方で見えますと、放置森林整備が51%、森林保全意識が22%、所有者が行う整備が17%、森林に親しむが10%となっております。

山を守るために年間1,000円の負担なら耐える

新しい税を創ることに賛成の方の負担感は、年間1,000円程度なら負担しても良いとされる方が38%と最も多く、次に500円が35%、300円が10%となっております。因みに、税負担の程度によっては新しい税を創ることに賛成とされた方も同じような考え方で、順序同じでそれぞれ37%、36%、12%となっております。

計画どおり進んでいるか

新京都府総合計画は、「むすびあい、ともにひらく新世紀・京都」を理念として、平成13年から平成22年までを計画期間とする京都府づくりの基本的な指針であります。この計画から、可能な限り数値目標も明らかにすることとし、170項目について数値目標が設定してあります。つまり、数値化されております170項目については達成状況がはっきりしていますので、こうした報告も簡単に出来ますし、職員が人事異動で変わろうとも、その評価と次なる行動は比較的容易に判断できるようになっております。

そこで、紙面の都合もありますので、数値化されている項目の中で、私が特に気になる項目の達成状況(全てを知りたいと思われる方は事務所までご一報下さい)から、計画を点検してみたいと思います。

まず、交通体系整備であります。残念ながら、計画達成状況は非常に悪いと言わざるを得ません。こう書きますと、杜撰な計画を議会がチェック出来なかったのかとお叱りを受けそうですが、計画策定当時、京都府は財政健全化の道を歩み始めておりましたものの、国においては小淵総理から森総理へという時期で、公共事業を中心とした景気浮揚対策が講じられており、その後の小泉総理が進めた日本道路公団民営化も動き出しておらず、また公共事業の対前年5%カットもなく、ましてや道路特定財源の一般財源化は政治テーマにすらなっていませんでした。ですから、多少の願望も入った計画であったとは言えるかも知れませんが、道路整備の長期計画がそのとおり実施されるであろうということを前提としたごく普通の計画であったと認識しております。

府の財政状況が見通せないということから時間が掛かりましたが、私どもが求めておりました綾

部・丹波間の京都府道路公社の事業参画を知事が決断したことにより、目標達成は困難でありますけれども、一応の道筋が立ちましたので、議会としての責務も少しは果たせたのかなと思っております。

京都市から宮津市の所要時間（今年の秋には、もう少し短縮されます）
計画策定時150分⇒現時点120分⇒計画終了時90分

次に、環境対策であります。まだ期待はあるとは言えるものの、達成が非常に難しいと言わざるを得ない状況であります。国における政策優先順位も上がり、制度も拡充されるのではないかと期待があったこと、知事も議会も京都議定書の誕生の地という思い入れが強かったことなどから、高めの目標にしたのではないかという思いもありますが、国の予算配分や制度改変の状況、企業等の経済活動や府民の暮らし向きの見通しが甘かったこと、府民に対する働きかけが十分でなかったことが原因ではないかと思っております。

太陽光発電システムを設置利用している世帯数
策定時419戸⇒現時点6,284戸⇒終了時15,000戸
低公害車の普及台数
策定時967台⇒現時点6,765台⇒終了時50,000台

現在の計画は議決したものではありませんが、その達成をチェックするのは私ども議会の責務であります。残された時間は少ないですが、諦めることなく、知事も議会も反省のうえに立ち、次なる行動を強めていかねばならないと思っております。

***** 映画「靖国 YASUKUNI」*****

中国人の李纓監督が10年にわたり8月15日の靖国神社を撮り続ける中で作った映画で、靖国刀づくりに携わっておられた刈谷直治さんという90歳の現役刀匠のインタビューがメインで、当然ながら撮り続けられた8月15日の靖国神社の様々なシーンも随所に入った映画であります。

私には、何を描こうとしたのかさっぱり分からない映画でしたが、大方こんな目論見で作られた映画ではないかと感じました。「日本各地で鍛造された軍刀であるが、靖国神社の境内で鍛造された靖国刀と呼ばれる軍刀は、100人斬りも可能なほど優れていた。だから、靖国刀づくりに携わった刀匠は、当時の新聞での記事ではなしに、ほめ言葉を直に軍や軍関係者から聞いているはず。だから、今ではそのことが大変気に掛かっており、戦争への加担を反省している。だから、その延長で靖国神社への参拝を否定している。……」

この映画の製作意図が、そのようなものなら、完全な失敗作であります。刈谷さんが映画のラストで吟じた「日本刀」の1シーンが、そのことを物語っております。

最後に、非常に印象的だった「日本刀を詠ず」（水戸黄門作といわれる）の最後の一節をご紹介します。

「容易に汚す勿れ日本刀」



◇◆◇◆◇◆◇ 都会が近くなる ◇◆◇◆◇◆◇

京都縦貫自動車道の全線開通に向け、丹波から北の区間については、綾部から和知までの延伸工事やETC設置工事も順調に進められており、9月末までにはそれらが完成する予定であります。完成しますと、宮津天橋立から和知まで普通車で1,000円となりますが、現在ETC利用による通勤割引を実施する議案を審議中でありまして、議決されれば、割引時間帯で200円安くなることになっております。



和知IC料金所

さて、工事に比べて気掛かりなのは利用の状況であります。

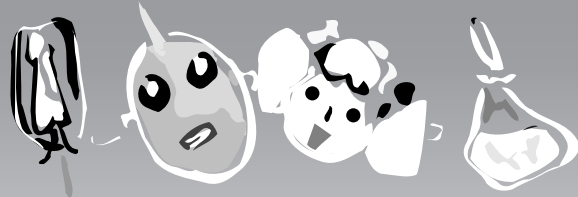
平成15年3月に宮津天橋立から綾部北までの区間が開通し、平成15年度には958,861台、16年度1,057,642台、17年度1,153,876台、18年度1,151,491台、そして昨年度は1,166,131台となっており、徐々に利用が多くなってきているとは言えるのでありますが、順調とは言えないのが気掛かりです。

有料道路ですので当然ながら借金で建設しております。宮津天橋立から綾部北までの区間の開通時に4,300台、丹波までつながった時には8,000台を想定しての借金でありまして、返せるのかなと心配しております。

皆さん、車で子供さんやお孫さんの所に行かれる時は、**京都縦貫自動車道**を利用しましょう!!
KTRもお忘れなく!!



夏まつりのご案内



今年も夏の夕暮れは!
皆さんと共に
夏まつりで
賑わいましょう。

日時：平成20年8月2日（土） 18時より

場所：橋立大丸シーサイドセンター（場所がいつもと違います）

会費：男性 4,000円 女性 3,300円

皆様と会える日を楽しみにしております。

ご参加申し込みは各地区役員様又は多賀事務所までお願いします。

多賀事務所 ☎0772-22-6335 (FAX兼用)

